

水源禅師法話集 76

(2017年5月3日 大阪合宿5日目)

2018年1月18日

一乗禅の会



ジタンブッタ、ヤンゴン、ミャンマー

目次

水源禪師法話.....	3
32 分身(不浄随念・アスバの瞑想).....	3
観音経はスメリアカルチャーの 360 と一体化している.....	4
人間界の浅知恵、宇宙人の浅知恵、それを超える佛の智慧が本当の叡智.....	5
一人の聖者が全てをわかりながら修行すれば大災難を免れる.....	6
体験して初めてわかる心の空間・阿頼耶識と体験なしの教学仏教「らん伽経」.....	8
お釈迦様の教えは「実際の瞑想が本当の仏教」・大いにかけ離れている教学仏教.....	10
北米の聖地で 5 日間飲まず食わずただ瞑想をされ、神通を受けた水源禪師.....	11
お釈迦様の過去の菩薩の時の体験が書かれたジャータカ物語「ラーマーヤナ」.....	12
今回の合宿で受け取った 4 つの瞑想法、正法は宇宙のダンマ＝時空も変わる.....	14
世の為に未来を予言した一行禪師、印光禪師・仏教を守ると言う事は大変な事.....	15
質疑応答.....	17
水源禪師がサンダーバードで見られた日本の未来.....	17
心と宇宙空間は一体化している＝菩薩の正法で時空が変わる.....	18
瞑想しなければ読めない【法華経】.....	19
今の地球を守っている 5 種類の地球の進化した生命体.....	20
磁場に影響されやすい私達、それでも何とか瞑想して行けば、、、.....	21
実は、龍神とか、いろいろな生命体が地球、私達を守ってくれている.....	22
お釈迦様は『・を食べてはいけない』と言わなかった、住む地域によって違う.....	24
一方的でなく、全体的に見なければ生かすものも全部死んでしまう.....	26

水源禪師法話

32 分身（不浄随念・アスバの瞑想）

「32 ということろを瞑想して下さい。」という事を言って、その時にその 32 分身の事をちょっと説明しましたね。この種は、32 の不純な身体を良く観て下さいと言うところで。それはちょうど非常に重要な 32 分身瞑想法というのがあります。これはいっぺんに 32 の瞑想はしません。1 日に髪の毛、身体の毛、爪、齒、皮、大体 5 つですね。その後また皮の下のちょっとこれは違う、パーリ語とは違うけれど、筋肉、筋、骨、骨の髄、5 つ 5 つ 1 日しっかりとやって行きます。5 つ 5 つ。そして大体 $5 \times 6 = 30$ 、6 日か 1 週間かけてゆっくり、しっかりと部分を瞑想する必要があります。

その事を 32 の自分の汚れた身体のを観るという事が、このアスバ (Asubhānussati: 不浄随念) の中に入っていますから、時間があれば家に帰って、このアスバをしっかりと、昨日は大体のやり方を教えましたが。だからこの 32 と簡単に入っている、これがここのです。それでこれをね、大体医学書とか何か写真見ながら、しっかりとイメージしてください、自分でイメージするのは難しいですからね。結局胃腸とか胃とかね、大腸とかそれを囲む薄い皮があるのですよ、内部のちょうど薄い膜、それを観なければね、どういう状態かハッキリ分らないと思う。それから肺があるでしょう。肺を外で包む膜もまたあるわけです。そういう事も書かれていますから。漢字で書かれているからしっかりと分らないと思いますので、辞書を調べながら、その絵と良く見ながら、これをしっかりとイメージ出来るまでしてください。そしてそれをずうっとおさらい出来る。しっかりと出来たら、今度は大体アスバという事で、この前に大体説明した様に。日本語でもありますけれども、大体で良いと思います。大体汚いという事をイメージして行って、それでこのアスバの瞑想になります。

これによって自分のね、頭の中で誤解しているものが全部取れて、この逆に汚いというイメージが何ともなくなるわけです。遠くから離れて観て、こう、おぞける様なその心が消えてしまいます。そこが重要な所でして、それでアスバの瞑想になります。またこれはね、最終段階で最終段階の教科に入る時にね、こういう風にアスバをちゃんと知っておけば、アニッチャ (anicca: 無常の)、ドウッカ (dukkha: 苦)、アナッター (anattā: 無我) のこの本体は、アスバ (asubha: 不浄) になります。

この世は実はそういう糞の溜池みたいな所が、実は私達の世の中なのです。それが私達には綺麗に見えるわけ、綺麗にね。ビルディングも。でも実態はそうなのです。という事が最終段階に行けば観えるから、ここで皆さんが幾ら努力しても、結局その頭のイメージは綺麗だけれど、実態は糞の溜池の中に私達は居るわけなのです。

だから、天界から降りて来る方々には、第 3 天界か第 4 天界からになったらね、ここが臭くて仕方ないわけです。糞の溜池に降りて来る様なものだから、なかなか降りて来れないわけです。だからサッカ (sakka: =インドラ) という天界は、我慢して降りて来るけれど、臭くて仕方ないわけです。

という事を私達は知らないわけです。私達は綺麗、綺麗でこう歯を磨いたり、歯を磨かなかつたらものすごく人間は臭い匂いするでしょう、人間が一番臭い匂いを出すかもしれない。ところが動物は一生懸命舐めています、こうして。それでも匂いがして私達

は嫌うけれど。猫ちゃん見ても朝から晩までこうやって、犬ちゃんも綺麗していますよ。

私達はお風呂に入ってドカッと綺麗にしているけれど、動物の方が綺麗好きで、毎日鳥は水浴びします。水で風呂に入ります。朝に大きい水盆に飛んで来て、綺麗にして、スッと飛び立って(笑)。だから人間だけが綺麗好きではなく、みんな綺麗好きでね、本当に深一く瞑想して最終段階に入れば、そういう世界なのです。

だから早く涅槃に行きましょうって。ここに何時までもこう惑わされずに。大体そうなのです。それが私達こうして過ごして「ああ美味しいなあ、ああ綺麗なビルディング、綺麗な花とかこう見えるわけ、実際。実態はそうなのです、アニチャ、ドウッカ、アナッタと言う。

この身体はね、年を取れば朽ちて落ちて行くでしょう？アニチャ、必ず変化します。それから必ず天災とかね、それから死とか訪れます。友との別れ、その悲しみ、ドウッカ悲しみ。それで実態はね、それを私達の心で変える事が出来ない。何時までも私達の思う通りに出来ないでしょう。だから私達は関係ない無自性で動くわけです。無自性でずうっと総ての世界が移り変わります。

だからこの3つが合わさった時には、最終段階でこれをずっと観ます。そうしたら、これが本当に臭いアスバと一緒に。だから私達の身体の本体は、実はこれで出来ているという事が、現実としてハッキリ観えるわけです。身体の中がそうになっているでしょう？ただ表面は綺麗にこうなっているのだけれども、これでもちゃんと洗わなくては、とても汚くて臭くて近寄れないと。そういう事で、実態はそうなのです。

かと言って、この中で綺麗にこうして綺麗な着物着て、こういう中でやっぱり静寂で瞑想出来ると。それで心が進化出来ると。ただその綺麗、綺麗に溺れない様にと。ただ綺麗にする事だけが最高の修行だと思わない様にと。勿論清潔にする必要はあるのだけれども。

実態はそうだという事を踏まえながら、そのアスバばかり力入れないでね。やっぱり4つ、ブッターヌッサティ(Buddhānussati: 仏随念)とか、愛の瞑想とか バランスを取りながら。この4つが本当に進化する極意に繋がって、ここから、ヴェダナヌパッサナー(受随観)、カーヤヌパッサナー(身随観)…。この上の段階に入っていきます。実際はこういう事で非常に瞑想は、難しいわけですね。というのは宇宙の最高の教えがこの中に入っていますから。

観音経はスメリアカルチャーの 360 と一体化している

そして、今こうして観音経を読みましたでしょう。これは、実際は遠い私達がもう殆ど分らないエジプトカルチャーの昔の、結局スメリア(シュメール)カルチャーと言うのがあ
るわけです。それで私達は、360 度のコンパス使うでしょう？360 度。100 でも良いわけ
です。ある時に時計を 100 進法でやったわけです。でも、しっくり来ないからそれでまた1時間 60 分になって。それから 90 度。この角度、何時でも 360 でしっくり来るでしょう？一時間は 60 分と。それで 3600 秒が 1 時間、60 秒×60 分で 3600。

で何と今この観音経読んだでしょう？この深い繋がりは、やっぱりスメリアカルチャー

の360と一体化しているわけです。だから中国の秘密は底知れなくて、西洋の人が見に来るのが、結局遠いその6千年前のスメリヤ・カルチャーが、まだ残っているわけ、あっちこっちに中国に分散して、特にチベットに残っているわけです。(六十年周期、十二支X 五元素(火、水、木、金、土))。

だからその昔、ヒトラーのナチス・ジャーマンが、探検隊をチベットに送ったわけです。そこのチベットから殆ど解析して秘密兵器とかいっぱい作ったわけです。今でもやっぱり道教とか不可思議な、あれは実の本源を辿れば、やっぱり遠いスメリヤカルチャーにしっかりとくい込んで、中国に残ってそれが囲碁なわけです。白、黒。

その六千年前に何故か大戦争があつてね、そこから逃げた人が今のニュージーランドの赤い毛と白人の体型をした人が120代前に、大戦争の時に難を逃れて、地中海、それからメキシコ、ペルーから入って来たと。その痕跡がやっぱりその人達はTB2というDNAで、そういう痕跡がそのルートにちゃんと残っていると生物学者は言っています。

だからこう全く観音経とパーリ語のお経は違う様に見えるけれども、実は深い所でもう完全に一体化してしまった。完全に一体化して、そのベースは一緒に、それで一つはアーリヤン系の人々がインドに来て、ブラフミン(バラモン)と言う宗教、それはもう12000年～13000年、遠い昔から北から降りて来た。それもまた12000年～13000年前にアブラ・マズダーが、これから地球は、お前のところに非常に氷が張って住めなくなるから逃げなさいと、それでシベリアから降りて来てインドに来たわけです。

人間界の浅知恵、宇宙人の浅知恵、それを超える佛の智慧が本当の叡智

だからもう全部繋がっているのだけれども。その中からお釈迦さまが、もう宇宙の最高の智慧が花開くのはその時、たまたまその時という不可思議な時間帯でしか、仏は出て来ない。後は全て神、神、神。だから仏は神をも教える力があるわけです。というのも神自体も人間になったり、神になったり色んな事をして、遠い時空ではね。だから、仏以外には私達は救われないわけなのです。というのは全てインドウラの網の中にいるからね。必ずこのサンサーラ(輪廻)の中でクルクルクルクルクル…無限時空の中で生きている私たち衆生(生きている全ての生命体)。

それでインドウラとかそういう大神が、やっぱり観音様の力を得て化身になって慈悲で私達を助けようとする、私達は壮大な生命体なのだけれども、それが全く見えない。今日本はまさに大地が沈没すると、科学的にはもうデータも皆出ているのだけれども。それもね、皆さんの心、今修行する心によってそれがそうならないと、時空が変わるわけなのです。この事を何回も言っている。それで皆さんがもし修行もしないで、一般に誤魔化されてしまったらそのままボーン！！と行きます。本当にそうなのですよ。

だからエドガー・ケーシーがね、日本沈没をちゃんと観ています。それから「日本沈没」という本を書いた方、「小松左京」さん。あの方の空想科学小説を私もずっと読んでいましたけれども、やっぱりそれ以上のアーサー・C・クラークとかね、そういうもう超天才のSF作家は、やっぱり仏教に興味があつてスリランカに住んでいるのです。そこに豊富なSFの題材があるからです。アメリカ海軍の地図には日本は載っていません。もうその準備もちゃんとしています。

でもそれは人間界の浅知恵で、宇宙人の浅知恵で、それを超える智慧が仏の智慧で、本当の叡智で、皆さんが本当に心から深々修行した時には、この時空が変わるわけです。それで何回も皆さんにお話したのは、ジャータカ物語の中で、あれは凄い話なのだけれども、理解しきれないからおとぎ話に聞こえるけれども、本当にその実態を教えてくれるわけなのですね。仏教の学者も誰もそれが殆ど読み切れない、悪いけれど深く瞑想して勉強していないと理解が出来ないようになってます。その文字遊びばかりしているから、実態の体験から出ていることが想定外になります。

一人の聖者が全てをわかりながら修行すれば大災難を免れる

だから皆さんが、こうして一生懸命その修行をするという心がね、たった一人でもあれば、この日本の大地は沈まない。もしこういう方がいなくなれば、沈み行きます。だからそれで何回も言うのは、「頑張って下さいと。それでその国にたった一人の聖者が出ても、その国は平安になります。その国が荒れるという事はたった一人の聖者もないと言う事。だからそれくらい凄い事なわけです。神、神と祈ったって、もう神同士が戦争してもう滅茶苦茶でしょう、中近東も。つまり聖者がいないと。叡智が発生しない勉強をしているという事。

ただ一つ、我只、唯我独尊。我只一人尊きと言う、唯我独尊。その通りなのです、本当にその通り。と皆を救うと言う。だからその心があれば、この日本は安泰で。また、北朝鮮の核ミサイルは絶対に来ません。ところがあなた方が、一人でも修行なく、アメリカさんみたいに遊んだら必ず来ます。必ずややられる。だからこの瞑想をしっかりと行う事は、如何に大切な事か。

でまたこの地球の大変動、今起こっていますけれど、これ自体も柔らかく済んで行くと。台風が直撃するところを何か逸れると。もう台風第一号が発生していますよ。どれだけこれから台風が日本を襲うか分らないけれども、しっかり修行した場合には、それ自体も何とか、こうあっちに逸れ、こっちに逸れて、大難が小難になるとか。今もう世界中で大洪水、あっちこっちでも見た事もない事が、ドンドンドン起こっているけれども、ただ発表しないだけ。発表しなければ分らないでしょう。分らないから安心する。ところがドカーンと来てしまうと。だから発表しないのが良いのか、発表してこう恐怖状態になるのが良いのか。

でもその中で、一人でもしっかり聖者がそれを全て分かりながら修行した場合は、それが消え去るわけです。そういう状態が分らなかつたら、聖者が分らないからね、ドカーンと来てしまう。だから、隠す隠すという事は、結果的に大災難をもたらします。聖者でも本当の情報を教えないから、だから助けようがないわけです。で、そういう事が来ると分ったら、パーンと防げるわけ、聖者でも、お釈迦様でもパーンと受けられるけれど。何にも無いと、「無いんだ、無いんだと、そういう風に聖者も思ったら、情報が無いものだから、ドカーンと来ちゃうわけです。ところが、聖者がちゃんと「あ、来るなと」思ったら、それをパーンとよけてくれるわけです。

だから皆さんに本当のその摩訶不思議な嘘だろうと思う本当の情報を、皆さんに報

告しているのがここのです。しっかりと分かれば、「まあ、どうかな？ そうかな？

と思いつつも情報を与えているから、あなたがしっかりと修行してその情報をみたら、「あ、本当だとなったらこの大災難が来ないわけです。嫌だって防げるわけ、分らなかったら嫌も何もないから、ボンと来ます。あなたが新幹線の前にね、バーンと立って嫌も何もなくボンと行っちゃう、それで終わり。新幹線の前に立つのが嫌だと分ったら立つわけないでしょう。

そこを私が言っているだけなのです。何も怖がらせたいわけではない。このまま知らずにいれば、新幹線どころか、もうロケットがあなたの身体を突き抜けてもいいの、という事で、そこから離れなさいと。あなたが離れれば、他の人も皆一緒に離れる事になりますよ、と言っている。それを「唯我独尊、我只一人尊きと。この教えがお釈迦さまの教え。たった一人で良いわけです。ところが全部を救って皆と一緒にこう出来るわけない事を言って、皆頭が狂ってしまっている。

だから福島の三陸沖の津波が一番良い例。学校の先生が喧嘩してね、民主主義であれだこれだと言って、生徒を皆殺してしまった。これが民主主義の成れの果て、これを Collective idea (コレクティブ・アイディア) と言って、皆で決めたそれが一番正しいと。それと科学は、民主主義ではないのです。お釈迦さまの「唯我独尊、我一人正しい

と。皆バカ扱いをしても、彼だけが正しい。それがマハトマ・ガンディ、ネルソン・マンデラ、JF ケネディ、殺されたけれど。だからそこを誤解しない様に。

民主主義が最高だと。その挙句の果てが、結局三陸沖で沢山の人を殺したでしょう。ハンドホーンの解析情報では海より離れて安全地帯に逃れたのに、今度は海に向かって、走って2万人が死んだのですよ。助かったのに、今度は海に走って行って、逆に。だからそこでね、凶暴な大王が、「いや、一人でも海に向かったら殺すぞと言ったら山に逃げて皆助かる。それがカダフィーとかね、サダム・フセインだったわけです。凶暴だから「これを殺せと言ったら国が、もう三陸沖みたいに津波がダーッと来て一緒に。国が全部滅んでしまう。だからそこを誤解しない様に、皆がするからそれが本当だと。

それで死んで行っただと。今、こういう災難が起こって。

だから、「只我一人唯我独尊」それで良いわけ。馬鹿にされ様が、何しようが。それによってお釈迦様は、私達をこれだけ救ってくれているわけです。それで私の体験からすればお釈迦さま程、偉い先生は無いと。そういう教えをずっと続いて来たのです。私が、運良く私の先生に出会って、その先生もまた良い先生に会って、こういう流れで来ているわけです。

だから人に馬鹿にされようが、何しようが、「我只唯我独尊でしっかりと瞑想して下さい。その事をお釈迦さまの体験で、彼ただ一人だけが、何回も沢山の動物達を救ったりね、何万頭とか、国を救ったり。ただ彼一人だけなのです。それを何回もやっているわけです。それでその体験によって、「唯我独尊って、この宇宙で、「我ただ一人だけが尊きと。実際にそうなのです。「何高ぶってこれとか、皆に相手にされない様な事を堂々と(言っています)。実際に間違いなく、その通りでございます。

でなければ、神と言ったらね、神が助けてくれるから、平和で幸せで。でも一回もなってないよ、この2000年。戦いばかりです。殺し合いばかり。まるっきり嘘です。

お釈迦さまは絶対に殺し合いはいけませんと。そういう事で、また瞑想をそのまま続けて行きましょう。

— 瞑想 —



大乘風に画かれているバガンの寺院、ミャンマー

体験して初めてわかる心の空間・阿頼耶識と体験なしの教学仏教「楞伽經」

まあ気楽に気楽に座して下さい。ゆっくりと。それから今日はやっと丁度中日、良くここまで何とか皆さんと一緒に来られて。ちょっとまた難しい話になりますけれども、また楞伽經の中とその大乘ね、大乘で解説されている楞伽經の説明されているこれは、結局お釈迦様が全宇宙の仏に対して報告をすると言う、最も大切なお経と言われるお話で。それで日本でも仏教界では、多分最高の最高の叡智で解説しているのだと思います。

それで、その中で皆さんアーラヤ識 (ālayavijñāna: 阿頼耶識) とか、良く聞かれるでしょう、アーラヤ識。一番心の奥深い所で 1、2、3 とか、一番深い真相の所で、過去も未来も観えると。そう言う風に一般的に紹介されて、「いやこの大先生は、どう言う風にこのアーラヤ識を言っているかと言えば、

このアーラヤ識は、我々が普通心と呼んでいる、それを指している。七天識とは、意

識、未那識及び五識身を言う。五識身は、眼識、耳ですね、耳鼻科の耳識、それから鼻の鼻識、鼻ね、舌の識、身の識の5つで、これが眼ないし身体という感覚器官を通じて対象を自識とする働き、色々は色形を觀、これ声や音を聞き、香り匂いを嗅ぎ、味わいを味わい、手足その他の身体の各部で触れるものに触れて感知するを言う。そうして感覚、知覚の働きであるので、一括して五識身と言う。このアーラヤ識を海に例え、この七識が、つまり波ですね、波みたいに变化する、

と言う風に、こう日本の最高の高崎直道氏は言っているのですけれども、実際は違うのですね。実際は違います。

「五蘊正見の「五蘊と言うところが、結局「五識身と。「眼、耳、鼻、舌、身」。それは結局サンカーラの作用で、この前もちょっと説明した様に、パッサ(phassa:触)、ヴェーナナー(vedanā:受)、サンニャー(saññā:想)、チェータナー(cetanā:意思)、エーカッタター(ekaggatā:一境性)、ジーヴィティンドリヤ(jīvitindriya:命根)、マナシカーラ(manasikāra:作意)という最初のこれが強烈にパーッと働くのです。心の作用(共一切心心所)、7つ。それからザーッと続いてパンニャー(paññā:智慧)まで行って、34、クサラ(kusala:善)、善心となります。

ですから、この解説ではね、日本語では分かる様だけれど、ごちゃごちゃになっている。その眼識ですね、眼識これ自体が今言った様に、非常に細かく分かれて行って、それでこの作用が心の中で、この松果体を通じてワイヤレスインフォメーションで心所に入ります、心所。

心所の空間、この心所の空間は、メッター、カルナー、ムディタ、ウペッカー、愛、慈悲、歓喜、静寂、この4つの空間が一つになって、心という大きな空間が出来ます。ここの中に全てのインフォメーションが入って、これを皆さんは阿頼耶識とか第7識とか第8識と第9識と言って、ここに到達して全てのインフォメーションが手に入ると。

だから結局「七天識が波の立つ様に」と、こういう風にその東京大学のインド哲学の教授さんが言っていると。ところが、実際はこういう形式で。という事は、ここが非常に問題が出て来るのは、教学仏教では実際の心の作用が観えないのですね。

ところが私みたいに全く勉強しなくても、こういう深い繋がりを解説をして行くわけでしょう。何故これが出来るかと言ったら、お釈迦さまの教えられた瞑想体験して観ているからです。体験して観なければ、結局東京大学のインド哲学の教授と言ったら、もう日本最高でしょう。右に出る方が一人も無いとおもいます。でも大いに間違っ書いてあります。という事を誰一人、解説を今までしないということもおかしいし、楞伽經は日本で經典の中の最高位のポジションに立つからこの方が書かれたと思う。

法華經とかそれは物凄く素晴らしいお経ですけど。楞伽經と言うのは、全宇宙に対して報告するお経ですから、だからここで一つでも間違いが起こるわけがない。私もその大乘の楞伽經、伽耶山という二千年以上を誇るその名刹からちゃんと頂いております。ただそれとは、この經典とは対照して研究はしていません。時間が無いからです。ただ日本語であるので、その仏教講座。もしこれを皆さんが最後にここに到達して、ここを理解して分ったとなればこれは大変な事になります。

実際の心の作用は、結局パオ・セヤドーが編集したここにあります。この通りです。実験して。こういう風に、体験して初めて分るわけです。だから皆さんが誰誰が予言し

てこうだと言うのは、全てアビンニャー (abhiññā: 神通) になって、アビンニャと言うのは、過去にそういう風な神通を修行して、それがたまたま出て来るけれども。結局オリンピックで 2m50 飛んだとか、走り高跳びでね。それは凄い事だけれども、それはただそういう訓練でそういう事を出した事であって。

一般の人はね、大体 30cm 足上げられれば階段が登れて十分な事。階段 10 個上がればもうそうなるだけであって。何も 2m50 をパーンと飛んで「素晴らしい

と。30cmの階段を 10 歩上がって行けば、もうそれ以上に上がると。いう事をお釈迦さまが仰ってこうなっているわけです。ところがこっちの解説では、これを読んだらもう誤解してしまって、「2m50 高跳びしたという風に解釈して、その中が大いに問題があります。

という事はこの方が悪いのではないですよ。この二千五百年前に、この日本まで伝わってくる間に、相当な情報が失われて書かれているから、その根本仏教の、南伝仏教のパーリ語から取った本当の意味はここに値するわけ。こういう風に心の作用。

(弘法大師様曰く、この地には 三百巻の内の三巻しか法が伝わっていません。)

お釈迦様の教えは「実際の瞑想が本当の仏教」・大いにかけ離れている教学仏教

それでスマナサーラ先生がね、日本語でまあ何か書いたと思います。でも彼は 18 歳の時からスリランカからこっちに来たから、しっかりは勉強してないわけです。だからその村から出た同じ勉強した大先生が、「私が学んだ方法と彼の発表とちょっと違います」と。全くその通り。というのは、スリランカでもこれを本当に瞑想する道場が一つも無いわけです。それで、正式に教えられる所は、パオ僧院本部のモーラミヤインだけです。そこでも本当に今教えられるかどうかと言うところなのです。

何故かと言ったら、その本部で私の同期ウ・コビタが教えているからです。同期は経典が好きで、経典から殆ど取っている様な感じで。私の後に来て勉強した方は、一体何を教えられたかはっきり分らない。同期のウ・コビタも「いや私は何も教えてないと言ってるから、これもまた非常に大きな問題があります。と言うのは、結局それを教える生徒が出て来たら良いけれども、出て来なかった場合には、一般的な解説しか教えられないわけです。(ウ・コビタ、ウ・クムダ名の比丘はミャンマー通名で沢山の方がおります。)

それで、ここをやるにはやっぱり、3 時間半くらいの強烈なニミッタを持って、それから禅定に入って行かなければ、さっきアスバの瞑想で身体観せたでしょう？ やっぱりニミッタを強烈に持って行けば、事細かくある程度は観えます、禅定に入らなくても。でもこれを一般の方に、ある程度写真を見ながらイメージさせながら、まあそれでも非常に効果があります。

という正法が未だに南方でも残っています。それを如何にして受け取るかとなれば、日本でこういう風な、大乘をしっかり頭に入れた場合には、非常に難しくなります。ここでもうブロッキングが掛かってしまうから。それで、本当のお釈迦様の教えは、実際の瞑想が本当の仏教であって、本の教学はそれは大学の科目の研究と、実際の仏教とは大いに掛け離れているという事が分りました。でも大学のそういう学会では掟がある

から、皆公式で発表しなければはれないし。ところがその本当の事を知りたいと言う方が、今度は行き場がなくなってしまった。

北米の聖地で5日間飲まず食わずただ瞑想をされ、神通を受けた水源禪師

それで、誰かが言ったけれど、結局10日間水も飲まずに、何か一杯苦行をすれば悟りを開くという風な事をやっている団体があると。確かに高野山ではなく、比叡山では、三年山を駆け巡って、毎日何十キロか知らないけれど。それを合格したら、最後の過程で、水を飲まずに水取りと言ってね、やらせるわけなのですね。その時は命を落とす時もあるらしい。

それで、北方インディアンでもね、水を大体5日は取らせない。死なないから、普通は9日から10日。その時にその聖地でちゃんとした行をやってやれば、未来とか観たいものが観えます。という行法で、ただ10日間か9日水を取らないでやれば神通を得ると、そう言う事はあり得ません。第一にそれをやるには、そういう加護をする精霊が必要です。神通を与える、それをサンダーバード神(Great Spirit)と言います。

だから北方インディアンでは、サンダーバードが非常に大切です。その「サンダンスと言うのはね、確か4日4晩だったか、ぶっ続けて立っているのです。太陽が出ようが太陽が落ちようが、ぶっ続けてずっとそのピースパイプを、名前が特別あります。それをずうっと持っているわけです。それで周りで、インディアンが踊るわけですね。7日7晩だったかも分らないけれども、確か4日4晩ずっと立ち続けると、水も何も飲まない。食べないでジーンと立っている。それでその時に、その行をした人が言いました。「その時にサンダーバードが、ピースパイプにプツと入って来た」と。体感するわけです。それを持って、たばこを入れて、こう皆で飲むわけですね。それでそういう霊的な祝福を受けるわけです。それにも儀式があつてね、そう簡単にはやらせもらえないのです。

私も三陸沖の福島原発の時に非常に日本を心配してね、最高のインディアンで聖地と呼ばれるサンダーバードマウンテンに行つて、普通は入れないです。そこのシャーマンが快く準備して入れてくれて、5日飲まず食わずでただ瞑想していました、そうしたらやっぱりその時私はもう南伝のジャーナとかね、その前北伝の行もしていたので、やっぱりちゃんと観せてくれました。どうなるか。という風に、神通を受けます。

それはね、ただ何処何処で習つて来たとか、それでは出来ません。まず第一にそう言うサンダーバードマウンテンと言う、そういう不可思議な生命体が必要で、まあ神と言うこっちは大神とかね、ホワイトバッファローとか、そういう所でしか発生しない様になってます。

それでまたそれには、誰一人私が行をしている時は、近づきません。結界を張って、日本と一緒に結界を張って。ただシャーマンだけが、1日1回声を掛けて、生きているか死んでいるかだけで来ます。まあ白人の方も、そうして行をしに来るけれど、やっぱり2日か3日になったら、突然もうギブアップして山を下りて、飲まず食わずだからね、no water no foods です。でも意外とそんなに大変な事ではなかったですね。やっぱり9日10日になったら分らないけれど。

という風に南米でも北米でも、実際の事をやるわけですね。何故それをするかと言ったら、やっぱり太古の昔から自分の民を守るために、そういう行をしていつて守ろうとするけれども、やはり皆棚ぼた餅は大好きで聞いて、嫌な事は聞かない。それで殆ど消滅してしまう。

それで、こういう風な素晴らしい本を書かれて意味はあると思います。でもね、これを本当に解析するとなれば、こういう風に瞑想して行くしかないわけです。でも大学の先生は忙しくてね、こう生徒を教えて、色んな事があるのだと思います。事務的な。こういう瞑想をするチャンスは、殆ど時間が無いし。また修行したって、これをちゃんと体得出来るかという保証は一つも無いわけです。

お釈迦様の過去の菩薩の時の体験が書かれたジャータカ物語「ラーマーヤナ」

ところが学問と言うのは、 $1+1=2$ というそういう風に機械的に皆考えているから、必ずやこれをやれば、必ず回答が出ると。ある程度ね。ところが仏教は出ないのです。仏教は地位、名誉、それから才能とは関係無いわけなのです。過去に何をしてきたかによって決定されるだけです。それを因果と言います。だから、何回もお釈迦様がこうしてジャータカ物語で言われているのは、結局過去の自分の観た体験を語られておられるのです。

ところが日本ではこれが理解出来ないから、おとぎ話みたいに書かれていますけれど、この内容は大変な事が書かれています。お釈迦様の過去の菩薩の時の体験を延々と書かれています。それも非常に短いページで。例えばラーマーヤナ、この前お話したでしょう。ラーマーヤナ。その時の概要はこうなのです。

その王子様がね、非常に弓矢が素晴らしくて、それで隣の国のプリンセスが結婚相手を募集する為にお触れを出して、全インドの王とか英雄達が集まって来るわけです。それでその中でラーマーヤナのラーマというプリンスが、妃を射止めるわけですね。

何故かと言えば、その弓は持ち上げるだけでも重い。で持ち上げて、それで弦ですね、弓の糸を掛けるのも非常に力がいって難しいと。それで、それを掛けてそれで弓を打つと、重い。という事は殆ど皆出来なかったけれども、ラーマは、その弓をバーンと折るくらいの力があるわけ。勿論他の弓で的を射って、誰も出来なくて妃を貰って、そして自分の王国に帰って。

そうしたらその二番目の妃がね、その二番目の奥さんが、このラーマが王位を取ったら自分が追い出されるのではないかと。それで一計を案じて、それで王に「実は、あなたが死んだら私は大変な事になるし、それであなたの息子の様子を見ていなければいけないという悪い一計を考えてね、それで王様を口説いて。

それでこのラーマプリンスがね、王国を出て行かなければいけないと。それで王様が、「お前は14年間、国に帰って来るな」と。それでこの世で最も美しい妃を持つてるラーマプリンスがその森に行くと、それをまた弟がいてね「やあお兄さん一人で行かすのは大変だと。それで何て言うのかね、ヘルパーみたいにして一緒に付いて行って、森でお世話すると。

それで、その森でお世話して、その時にその森の魔女が出て来てね、「身も素晴らしいし、恰幅も良いし、あなたは私の旦那様になりなさいと。「いや、私はお妃がいるし、絶対ならないと。それで色んな悪さをするわけです。そして悪さをされて、それで痛い目に合わされたから、今度結局、ランカ国ね、スリランカのランカのお兄さんの所に行ったわけ。それで、そのお兄さんは、もうこの世を全部支配するだけの力のある大王だったわけです。空中は飛ぶ、全世界は駆け巡る。

それで、今でもスリランカに行けばね、島の真ん中あたりに、何と言うのかな、アリゾナの映画で見るそういうポッコリという岩が空中で平らな山があるでしょう。そういう山があるのですよ。非常に高いです。その山は。その入口のね、崖の中に入って階段を入れて行く前に、ライオンの爪みたいにでっかい彫刻のゲードがあるわけです。そう簡単に入って行けないと。それで、その途中に妃の絵が描いてあるわけ。一人は中国の妃、一人はアラビアの妃、一人は現地の方、もう一人はヨーロッパか何処かの四人の大陸の妃の顔が描いています。それだけの力がある分けです。

何かそこでも、まあそれはその後の話だけれど、結局ランカのお兄さんが「よし、そうしたらこのアジュラの妃を誘拐して、私の嫁にしよう」という事で、それで魔法を使って、この妃をさらって、ランカ国に連れて行ったわけです。それで、その時にその後でお兄さんが、ラーマが帰って弟が来た時に「妃がいなくなったと、それを探し求めてつきとめた所が、ランカ島なわけです、スリランカ。

それで、そのスリランカに攻め入るには、橋がないわけ。それでたった二人の兄弟で、攻めて行くだけでしょう？あとは動物しかないわけです。だからその中で、ハヌマン（ハヌマン）という猿さんがね、家来を連れて助けに来るわけです。動物達が。それで、その時に今のタミルランドのインドの先の近くとスリランカ、その間に橋を作って攻めて行ったわけです。だから今でも、島がポン、ポン、ポン、ポンとあるでしょう？

それでロシアの考古学者が、それを調べた時には、それは人工的なもので。実際に下の地質を調べたら、大体 150 万年前に出来た構造物であると。ところが私が覚えたのは、3 万か 4 万年前かなと。地質学的には 150 万年前、このランカのこの話は相当昔のことになります。

という風に、この猿さんが、もう巨大な山みたいに大きくなったり、それから沢山の家来を付けて攻め入り、またランカの王様も自分の分身を何千と作るわけです。そのストーリーが丁度本当に Science Fiction (サイエンス・フィクション) みたいになっている。そ

それで、結局はラーマプリンスが勝つわけなのですけれども、それでその時に有名なバガヴァッド・ギーターで弓で打つ時に、「この弓で打つか打たないかと。それで確かクリシュナだったか、が出て来てね、応援するわけです。「打つ様にと。

それで、バーンと打ったら、それがもう巨大なそのランカ王の最高のロボットみたいなそれを倒すのです。それが、その一発の弓矢が、弓矢でもう国が全部破壊するという原爆みたいに一瞬に滅びてしまうわけです。その後が今のモヘンジョダロの地下をそこら辺を調べたら、やっぱり今でも強烈なラディエーション(放射能)があると。

だから私達にとっては、おとぎの様にラーマヤナだけれども、そういう風に科学的な実態がドンドン出て来るわけですね。それで、私達の過去の歴史は殆ど分らない。

でも現代の科学とか、DNAとか、調べて行けば、結局ラーマーヤナの話とか、このランカストーリー、お釈迦様が報告したと。何故そこで報告しなければいけないかという壮大な話があるわけです。

それで、お釈迦さまがジャータカ物語で、菩薩の時に同じ様に国から追われたのです。それで、その妃を連れて、それで弟プリンスを連れて。その弟プリンスがアナンド。それで、その追われた王子がゴータマブッダ。妃は結局ゴータマブッダが結婚した妃、最近のストーリーで。それで、やっぱり14年間追われたと。それで、王様が死んだから帰って来なさいと。でも私は王様の14年間の命令があつて、外に出なければいけないと。その代わり私の草履を与えるから、それを王様の椅子の上に置きなさいと。何か問題があつて、もし採決が良いという時は、草履が空中に上がって、ポンポンポンとやると。

それで、そのラーマーヤナのこの王子様も妃を連れて森に帰るのだけれども、もう王様が死んで「帰って来なさい」と、「いや、私は14年間いなきやいけない」と。「その代わり、私の草履をあげましょう」と。だからラーマーヤナのストーリーは、ゴータマブッダの菩薩の一つの人生と同じ様なストーリーなわけです。これから解析なければいけないけれども、これが本当にそうか。でも橋げたを作ったそのそこが、150万年前。現代の歴史ではあり得ないと。だから到底解析出来ないわけです。今の地質学とか考古学では。と、この仏教經典とピタッと合うという事は、殆ど不可能。

今回の合宿で受け取った4つの瞑想法、正法は宇宙のダンマ=時空も変わる

という事で、実際のこういう瞑想法、正法。これは大変な事なのです。それであなた方に、この四つの瞑想法を去年、メッターヌッサティ(Mettānussati:愛の瞑想)、マラーナーヌッサティ(Maraṇānussati:死随念)、ブッターヌッサティ(Buddhānussati:仏随念)、今年。そして最後にアスバーヌッサティ(Asubhānussati:不浄随念)、大変な事なのです。実はこの正法のやり方で紹介したこの事が。頭がぶっ飛ぶ位の事をあなた方が、実際もう持ってしまったと。だからそういう神通とか、私も神通をそのサンダーバードマウンテンで受け取れども、比較にならない。比較にならない。宇宙のダンマをあなた方が持ったと言うことです。

だからこれをしっかりやれば、日本国がつぶれるわけがない。沈むわけがない。という事をお話何回もしたわけなのです。それで、皆さんも話を聞いたら、もう相当な所まで来て、それで私が確信して「北朝鮮のミサイル原爆は来ませんよ」と。それで「日本のこの大地も水の下に沈みませんよ」。

ところが、アメリカ海軍の地図には、日本列島はもうないのです。地図にはない。それで、アメリカの海軍本部はサンディエゴからアーカソーのミズーリにもう移っている。そこにもう本部作って、もう沈むと言う前提で。それで、ローマ教のパティカン全ての図書館は、その湖の海軍本部の近くに図書館を作って、全部そこにマイクロフィルムで収めています。それで、その傍にルシファーという天文台を作って、ずうっと太陽が何時来るか見ている。

でも150万年前に起こったゴータマブッダのこのラーマーヤナの様なストーリーに比

べれば、私達のこういうね、宇宙船だ何だかとかいうね、空母だと言うのは、まだおもちゃに等しいくらいだから。それにまた、エドガーケーシーという有名な現代のノストラダムスという人が、「日本は沈んだという事を発表しているわけ。ちゃんと「日本が沈んでそれがニューヨークタイムスに出て号外になったと、そういう事もあるわけです。

でもそれは、結局皆さんがしっかりやれば、この1秒間の間にね、大体100兆から200兆の平行宇宙空間が入り込んでいるわけなのです。だからあなた方が、本当にしっかりと瞑想して宇宙のこの最高のダンマを持った場合には、条件は変わって来ます。時間も変わって来ます。何故かと言ったら、宇宙自体も生命体。あなたも生命体。それでこういう尊い法が発生した時には、宇宙自体が、もはやこういう小さい宇宙のゴミ屑みたいな中の一つの地球が減びると。それでこれが消え去るという事はありません。あり得ません。だからあなた方がもはや体験しているから、安心して一生懸命このまま続けて下さいと。

今年の9月23日から11月21日の間に、ネメシス、ニビルは、それをクルクル回ってる4つの代きの惑星の1つ。それが通過してまた去って行きます。来年。その時にはやこの地球のスピードが、二週間遅れているのです。来るべき位置が二週間遅れている。だから誰かが地球を助けようとしているわけです。あり得ない事が発生している。二週間遅れたら相当のポジションが狂うわけですよ。

それで去年奇しくもその前からもヴェーダナヌパッサナー(受随観)を教えているし、去年もこういう風な法の華を咲かせたし。今回もまたこうして皆さんに大事な最後の瞑想を教えたから、あなた方は安心して良いと思います。だからあなた方は、大変な高德をこの日本国にしているという事を知って下さい。だから瞑想をただをしていると、夢の中で生きているけれども、現実的には大変な事をしているわけです。

世の為に未来を予言した一行禪師、印光禪師・仏教を守ると言う事は大変な事

さっき言った阿頼耶識という話があるでしょう？あなた方の過去は全て観れます、あなたの心の中に存在するわけです。何故かと言ったら、ブラックホールがあるでしょう、全て消えて行くわけですね。でも物理学的には、物が消えると言う事は、この宇宙が破壊して、存在出来ないという事だから、必ずこのインフォメーションは何処かにあるわけです。それが宇宙の彼方にあるわけ。それを心と言います。

心は全宇宙を包みます。だから全ての過去も未来も観える。という方向に現代物理学はその方向に走って行っている。という風に仏教学者ほど、天文学とか現代物理学とかそれから数学とか勉強しなければいけないと思います。

何故かと言ったら、キリスト教のローマカソリックは、お坊さんにまずカリキュラス(calculus:微積分学)を勉強させる、徹底的に。数学が出来なければ、もうお坊さんとして失格で、位に上がれない。お手伝いさんくらいで。それで、6ヶ国語を覚えさせ、そして天文学とかありとあらゆる科学を勉強させるわけです。だからそれで仏教はそこまでしなくても良いけれども、お坊さんが一行禪師みたいに地球儀を作ったり、それからその時の中国の国の未来を予言して、それから民衆の災難を防ぐと。

今、現代で仏教のお坊さんが、地球儀を作るそういう勉強をした人がいますか？一行禪師がいなければ、この日本に密教が伝わらなかった。弘法大師様が密教を持って来れなかった。一行禪師は、道教のお坊さんから仏教の禪師になったのです。禪師になってから、今度は密教の凄さが分かって密教も体得し、それで、その時に予言するわけですね。予言して、王様がこれから7年後どうなるかと。ちゃんと予言しなければ。予言を正確にしなければ王様が首を取るわけなのです。

だから、最近のシンガポールの死んだ印光禪師も、その勉強の部屋を見たら、やっぱり予言をしていました。これからシンガポールにどういふ事が起こるか。それで、金持ち達はどうすべきかと。全ての政治家は彼に聞き、彼が予言して今のシンガポールが出来たわけです。もはや今から14年前に、全てのアメリカ人のビリオネア(大富裕層)はシンガポールに皆行ってしまふわけです。そこが一番安全だから。という風な印光大師は、もう未来を観ているわけです。

南伝禪で、南の中国でも北伝禪と南伝禪があつて、南伝禪の台湾の向いの町なのですね。ちょっと忘れちゃったけれど。そこの出の禪寺です。そこから、シンガポールに和尚さんから言われて行って、これからそこの和尚さんが中国には後に法難が来ると。仏教が滅びると。それで佛光山の星雲大師もそれで命令を受けて、一人は中国に残って一人は台湾に行きなさいと。という風に、仏法を守るという事は大変な事なわけです。

私が非常に、こう東京大学の先生に対して、失礼な言葉で解説したけれども、これも大変な事なわけです。でも本質から大いに外れます。幾ら勉強して頭がもう天才的でも、実際とは違うわけなのです。天才でも解析出来ないわけなのです。何故かと言ったら、こういう本当のダンマヌパッサナー(法随観)を収めなければ、お釈迦さまが言ったこの楞伽經の内容が理解出来えないと思います。

でも、こういう教本が残っているから、私が解析出来る機会があるのです。だから大乘を貶してもいけませんし、小乗が上だと言ってもいけません。どちらも両輪でこう来ているから、お互いに補佐して研鑽して、良い方向に結ぶしかないわけです。ところが、人間はちょっと猿に近いから、キャ、キャ、キャ、キャッと相手に指差す事が大好きだからね、そう言う事ばかりしたり。デーヴァダッタみたいに仏教の中でも嘘ばかりつく人間も居るし。だから成れの果ては大変な事になるから、そう言う事はやめなさいという事で、このジャータカ物語でお釈迦さまの体験をいっぱい書いているわけです。

ところが、日本ではこういう経典を読む事が出来ない。こういう経典を解説したと言う話は、私は聞いた事もないのですけれど、こういう風に細かく。その漫画とかそういう物で見れるけれども、楽しい話。私も、トロント大学に行って、ジャータカ物語を見ましたけれど、やはりこれくらい詳しくは書いていなかった。何故かと言ったら、大正時代の経典だったから。日本ではそれ以後研鑽していないわけなのです、まあしているかも知らない、私そういう本しか目していないから。

質疑応答

水源禪師がサンダーバードで見られた日本の未来

【参加者】

先生がサンダーバードマウンテンで観られた日本の未来は確かあまり良くないと。

【水源師】

そう、やっぱり太平洋が全部放射能で汚染されて。

【参加者】

今その通りにやっぱり進んでいる？

【水源師】

そうですね、その通りになっています。シーンとしているけれど(笑)。

【参加者】

まあその通り。

【水源師】

その通り。

【参加者】

放射線というのは、核爆弾でそうなっているのですか。

【水源師】

全部太平洋が放射能で汚染されて、魚も全部汚染されると言う。

【参加者】

核でですか。

【水源師】

ではなく福島の前3・11。シーンとなっているけれど。

【参加者】

先生、その魚皆食べているではないですか。

【水源師】

そうですね。ゆっくり浸透する。でも日本はね、味噌とか塩麴とか、そういう物がある

から、何かそれを西洋で受けるような状態ではなく、広島でも原爆が落ちた後に沢山生き残ったのは、何か塩麴とか味噌とかそういうものを、沢庵とか食べているから、麴類それで、本当は消滅するはずが、もう 90 歳 80 歳まで生きたり。だからこの次の世代は分らないですよ。

あなた方は驚いているけれども、沢山味噌とか、塩麴とか、麴漬とか一杯食べたら、御手本として広島、長崎の方が生きているから、ドンドン食べれば、まあ 80,90 まで生きたら良いのではないですか。特に法を受け取って、もう万々歳ではないですか。それが、法が無くしてね、100 歳まで生きて、これはちょっとあんまりね、ただ生きたと言うだけで、まあ、そういう事で安心しました？

【参加者】

はい。

【水源師】

大安心。だから魚もバンバン食べて、味噌もドンドン付けて、味噌汁とか一杯食べて。

【参加者】

はい、そうします。

心と宇宙空間は一体化している＝菩薩の正法で時空が変わる

【参加者】

最近報道では、南海トラフの大地震の事を良くしておるのですけれども、一体どうなるのでしょうか？何時起きてもおかしくないと言う報道なのですから。

【水源師】

実際そうです。今起きてもおかしくないと。と言うのは、普通はね、一年で何個かという感じだけれども、震度 7 とか 4 とか 5 ね、もう今はボンボン世界中で何ぼでも起こっているよ。そのデータね、global earthquake data (グローバル・アースクウェイク・データ) という、インターネットを調べたら、ボンボンボンボンと出てくるから。それから火山。火山も (普通は) 一年で大体 35 火山が爆発するくらいだけれども、1 日で 35 発やっているわけ。バンバンバンバンと。

だから桜島もこの前 2 発ボンボンやったでしょう。ずうっと前ね、桜島 3000 m やった時、全然日本のニュースに出てなかったのですよ。それで、外国の人が映像を取って嘘だろうと思って現地の HP を調べたら爆発していると。それでグローバル火山データを見たら、やっぱり爆発していたと。まあ何故か日本政府としては、言いたくなかったみたい。何故かと言ったら、その近くに原発があるから、皆騒いでいる時で。そこにどンドン火山石が落ちて来ると、それでも稼働していると。それではあまり発表したくないで

すよね。もう怒られるし、でも稼働せざるを得ないと。稼働せざるを得ないけれども、その後熊本がやられて、でそこはやっぱり、震度6か5か、もう数千回起こってもうバレ始めているから。その亀裂が大阪まで来て、京都へ上がって行っているから。だからこっちの方が今は南海トラフよりも凄いわけです。

それで奇跡的に止まっています。奇跡的に。去年9月私達瞑想したではないですか。もう強烈にしんどかった。強烈にしんどかった。その後、佛光山で瞑想したでしょう？やっぱりご褒美来たのではないのでしょうかね。(ニコニコする(笑))。それで今回も皆さんがこうしているから、やっぱり地球の時間としては、1秒が数千年になるから、1日1秒狂ったら当然でしょう。だから数千年後は保証出来ないけれども、まあニコニコしても良いのではないですか？悪いけれど。

という風な時空が発生していると思います。だから皆さんが一生懸命、これ嘘だと思うのだけれども、実は心とこの宇宙空間は一体化しているわけです。特にこういう風に菩薩行をされているあなた方は、もはや菩薩のその法を勉強されているのですよ。何故かと言ったら、これ見て下さい、東京大学の教授ですよ。それがこれですよ(本を持ち上げて)。あなた方は正法のこれを私から聞いて、解説聞いているでしょう？これはもう菩薩の道に入っているわけですよ。本当の意味で。体験者から聞いている、そのコピーで聞いているわけではないのです。コピーで。細かく内容を説明しているでしょう？ただまる暗記でこうこうではないわけ。まあこんな事を言ったら、もう本当に馬鹿にされるだろうね。こういう事が外に出たらマルキチになって(笑)。

瞑想しなければ読めない【法華経】

まあ、そういう事だから、皆さん安心して、修行に励んで、パラレルユニバース(並行宇宙)だからね、何処でどう変化するかも分らないし、だからあなた方が一生懸命やれば、その事が法華経に書いてあるわけですね。この不可思議なこの世界、法華経に書いています。それが読み切れない殆ど。この現世のここだけという風な視点しか見えなから。またそれを読み切るにも、やっぱり相当な現代科学の知識ね。自然科学から物理工学から全てお坊さんは収めなければ、法華経も読めない。ただ暗唱して言うだけでは結果が出ないと思います。

法華経もね、やっぱり「瞑想しなければ読めない」と六祖禪師が言ってますよ、六祖禪師。六祖禪師と言うのは、今の臨済宗、それから曹洞宗と、全ての禪宗がそこから出て来たから、その前に達磨大師から流れて来て六番目の大禪師。それでその方は字が読めないのです、書けません。という仏教は、文字を書けるから全て知っているという訳ではない。

それで禪を不立文字といいます。

今の地球を守っている 5 種類の地球の進化した生命体

【参加者】

先程、先生のお話中で、地球の時間軸を遅らせているというお話で、危機が回避出来るというお話があったと思うのですが、その地球の時間軸を遅らせているのは、沢山いるのですか、そういう方が。そういう危機が分っていて。

【水源師】

と思いますね。と言うのは、私達より数段進化した人間の生命体が、この太陽系に居るわけです。一つのグループはサタングループとかね、もう一つのグループはヴィーナスグループとか。そのグループ、グループによって、そのマークがあるわけです。丁度白い衣を着て、非常にこうエンジェルみたいな衣着て、それで宇宙船に乗ってクルクルまわってるわけ、ここで。それは大体、五大陸みたいに五人種に分かれて、一つはアズテック・マヤの皮膚と色をして髪型も完全にそういう超高層文明を持って、ちゃんと居ります。それで、この方達は、石を使ってコンピューターを作ったり、石の宇宙船を飛ばすわけです。

それが三千年前に突然コロンビアとか、中部アメリカから、そういうマスターが消えてしまったのです。三千年前以降に。その繋がりと良く分るけれどずっと前かも分らない。顔色も丁度、中南米のそういう体系で色とか、髪も黒いし、丁度お釈迦様みたいにクルッと頭を回して。非常に高度に発展した文明の方の様に見えるし。もう一つは、黒ではないですね、チョコレート色のちょっと黒い明るいチョコレート色ですね。髪はちょっと金色みたいだけれど、アフリカ人の体系で、髪もクルクル金髪に近く、やっぱり顔をみたら非常に現代では及びもつかない非常にインテリ的な顔をしていました。もう一つはノーディックと言って、北の白い様な髪でね、背も高くてスラッとした白人系のそういう進化した人達。もう一つは、今のインディアあるでしょう。インディアとペルシャとちょっと混じったそう言う方々で、やっぱり其々マークを付けて、同じ様なまっ白い衣を着て、でズボンを履いて、非常に進化した感じで。もう一人は完全にこの東洋系です。東洋系の髪の真っ黒い長い、これも殆ど同じでマークだけが違う。

この五種類の地球の進化した生命体がちゃんとこのソーラ系に居って、それで大体 2014 年あたりからこう全部調べているわけですよ。この東西南北でどの位置が地球に来るか、星の関係で。去年スピードが来るべきところの二週間遅れているわけ、だから二週間スピードが狂っているわけです。来るべきところが二週間の格差で遅れて来ているわけ。だからそのままの軌道で行けば、そのまま当たるという風だと思っただけけれども、私が思うのには、やっぱり二週間遅れていると言う事は、外的にそういう力で守っているのだと思いますけれど。

だからそういう方向で見れば私が言った事はおかしいと言う事になるけれど、何か関係があると思いますよ。特にドナルド・レーガンはね、「宇宙人が攻めて来る」と、「皆さん私達はこう守らなきゃいけないとか、それからオバマ大統領も、「60 年前から外敵宇宙人がここをコントロールしていると。大統領達が言っているわけなのです。」ところが日本では報道していないと。まあ、それは別としてね。

だからそういう風に、何とか乗り切ると思います。今のこの大危機。でも過去にはもう地球が転倒して大変な事が起こって、今でも殆どの学者は、ある時期にその物体が来たらクルッと回ると言っていますよ。一日でクルッと。それで、また戻るみたいな事を。赤道の位置も変わるとか、そんな事を言っているけれど、分りません。

それは学者の文献で彼らだけが知っている事で、その漏れた情報でしか私は分らないし。過去の予言によれば、相当狂いますね。今でも、大体赤道の位置が、北の方に上がって南の方から。この北極が今シベリアの方に来ているから、日本は非常に寒気が激しくなっていると。それで逆にカナダとかあっちの方は、ちょっと温暖化すると。そういう風なものはや軌道までも変える、位置のポジションまで変えています。

まあ、そう言う情報でどこまで正しいか分らないけれども、どうもそれに近い。狂っているのは確か、ローテーションして。ポジションが全然違うから。太陽の上がるのと下がるポジションが違ってます。

磁場に影響されやすい私達、それでも何とか瞑想して行けば、、、

【参加者】

朝と晩と瞑想をしたいなと思ってしているのですが、夜の方は「もう寝る時間というくらいにバタバタとした状態で瞑想する」と言う形になってしまいました。ちょっとその切り替えが最近なかなかうまく行かなくて、確保したいと思うのだけれど、時間がこう押して来てという状態なのですが、何かその切り替える方法というか何か方法がありますか。

【水源師】

いやあ、それは難しい。何故かと言えばね、磁場が狂って。私も時々頭がフラフラして、調整つくまで2,3週間掛かるから、地球がグラグラ動いているからね。それで磁場も相当荒れてしまっているから。結局私達の身体は非常に磁場に影響されるからね。もう荒れ狂っているから、時にはフラフラする時があります。特に、高圧線の下とか、そういう所を通れば何か頭が痛くて嫌な感じ、実際に感じます。

そういう風にこの地球の磁場が荒れ狂ってしまっているから、今。それに太陽も荒れ狂って、ドンドン磁場を放射しているから、今は5分でも10分でも瞑想すれば上出来ではないでしょうかね。特に1時間2時間になったらもう大したものですよ。という風な状態なのです。なかなか心がこうすんなりと瞑想するという心になりにくい。身体が全部磁場に影響されているからね。まあそういう事で、あんまり気にせずに、出来るだけ何とかやってみると。それだけで大丈夫だと思います。

実は、龍神とか、いろいろな生命体が地球、私達を守ってくれている

【参加者】

先程言われた五つの進化した人類のグループって、もっと沢山います？

【水源師】

その他にも沢山います。

【参加者】

その人達は、我々親戚なのですか。それとも。

【水源師】

そうですね、DNA では親戚ですね、完全に。

【参加者】

何かこうエリートと言うか、その中で我々の先祖の集団の中で住んでいる。

【水源師】

いやいや、もうずうっと前に地球から出て行ったか、この太陽系で行ったり、来たりしているみたいです。太陽系の中を。

【参加者】

他のソーラーシステムというか。

【水源師】

一杯いますよ。900 の宇宙の生命体が行ったり来たりして、この地球は丁度ね、トレードセンターだと言っていますよ。

【参加者】

ああ、住んでいるあれは。

【水源師】

住んでいるのもいるし。住んでいるのは、ずうっと前に、64 億年前にそういう生命体が、この地下に住んでいると。それがナーガと言って、お釈迦様のいう、皆その生命体だと思うけれど。非常におとなしいと聞いているけれど、西洋の人は非常にどう猛だと言う。それは分らないけれど、パオで私の先生が、私にちょこっと話してくれたのは、実際にナーガの国おりますよと。という事はその事なの。地下の方に住んでいる。

【参加者】

ナーガって龍ですか？

【水源師】

龍です。龍っていうか、蛇。蛇とか、トカゲとかそういう風な感じだと思います。

【参加者】

いわゆる中国とか日本の龍神のイメージと言うか、龍神の別の？

【水源師】

それも居るのですよ。本当にその形が、南米にちゃんと居るわけです。南米のエクアドルのジャングルの人が、龍を作って飾っているわけです。博物館にも。「これ、どうした事？」と、「いや、私の1代前の先祖が観たと、それで私達はそれを真似て、この型で作ってキト(エクアドルの首都)のお祭りに持って来ました。」

【参加者】

別なナーガといわゆるナーガと龍神。

【水源師】

龍神とかナーガは、同じ種族だと思います。私達人間が、黒人とか、白人とか、東洋人があるみたいに、ちょっと違うけれど、ナーガはナーガで、非常に高度に発達した生命体がこの地球に居るみたいで。私がびっくりしたのは、私の先生が「ナーガってちゃんといふのですよって。黙って聞いていたけれども。瞑想して観たみたいですね。ちゃんと。ニミッタの使い方も教えてくれてね、どういう風に観たら観えるかというのを。」

【参加者】

ナーガもまた瞑想はするのですか？

【水源師】

しているみたいです。ナガルジュナ(龍樹)様は、結局仏教の経典を失った時にそのナーガの国に行って、仏教の経典を全部持って来たと。南極の地下には、全ての過去の経典を収めてある図書館があって、そこに入るには、岩の壁を通してしか入れないと。岩が結局自由に通過できる機能のある、そういう物で入っていくようです。

だから「第三の眼という有名なチベットの本がありますけれど、そのチベットのお坊さんがね、ある棒を持ってこう振りながら、岩の中に入って行くのです。そしてそれをついて行ってその中にちゃんと12フィート、3m60cmの遺体が納めてあって、男性の王様。その傍に8フィートの妃が眠っていると。

まあそう言う事があるものかと思ったら、今、南極で、2m70cmの氷から出したそういうミイラみたいなのが一杯出て来て、身体は結局、Egyptian(エジプシャン)タイプの衣をつけて。一瞬にして凍ったみたいで。それから象さんとか色んな動物も出て来て、中を開いたらやっぱり突然氷漬けになった感じで。

という事は、この地球に何か起こって突然変わってしまっただけでね、結局この上空はね、マイナス 50℃、100℃なわけです。それを防ぐために、この大気が覆って、その大気が割れた時に落ちて来るみたい。水みたいに。一旦落ちて来たら、そこが突然マイナス 100℃位になったら全部一瞬にして凍るでしょう。そういう学説がありますね。

それでマンモスが、シベリアで発見された時に、まるで昨日死んだみたいに、肉もちゃんと付いて、一万二千年前だけれど、中をわったらちゃんと中に其の時食べている草もちゃんと出て来ていると。そういう遺体はツンドラと言う氷の中の倉庫に納めて、冷凍しているみたいです。上に置いたらすぐに腐ってしまうからだそうです。

お釈迦様は『肉を食べてはいけない』と言わなかった、住む地域によって違う

【参加者】

最初の方の法話で、一度お話されたかもしれないですけども、インタビューの時にもお伺いした「肉を食べる事」について、今の畜産の現場では、豚さんが檻に閉じ込められるような狭い所で育てられたりとか、フォアグラを作るのにも、ノズルで食糧を口の中にガアッと突っ込んで、太らせてから殺す事があると思うのですが、先生のお話では、人間の頭脳ではちょっと分らないこの宇宙の法則があって、

【水源師】

ありますね。

【参加者】

人間も食物連鎖のピラミッドの一番上ではなくて、下の方に位置している、で人間を食べる生命体もいるという事だったのですけれども、ちょっとその事をこういう場なので、また答えて戴ければと。

【水源師】

昔ね、フェニキアの人がね、マルタに若者を 50 人送らなければいけないわけです。毎年 50 人。それで若い処女と若い男性を船に乗せて、50 人マルタのクレイ邸に連れていかなければ行けないと。そして帰って来ないと。それで、その英雄がマルタに行って、洞窟の中に入って行って、頭は牛で身体は人間で、この怪物が人間を食べるといふ伝説があります。

また、北アメリカの伝説では、毎年サンダーバードが飛んで来て、子供を捧げなければいけないらしい。それでサンダーバードが飛んで来たら、急いで子供を隠すと。でも子供を捧げなければ、大変な事になるから、毎年 50 人位、子供を宇宙船みたいなサンダーバードに捧げるという話を聞いた事があります。

今アメリカでは毎年 50 万人の子供が、ミッシング(失踪)しています。それが何故騒がれないかと言ったら、人が消えた場合には、その地方の警察署だけの報告しか出せない様になっている。この前ワシントン DC のキャピタルでね、20 何人だったかな？突然黒人の若者が消えたわけです。それで大騒ぎしたわけ。何処に行ったか分らないと。

そしてそのままやむや。一旦消えたら出て来ない。まあ奴隷として使われているのか、食われているのか分らないけれど。まあ、そういう事です。

【参加者】

そう言った生命体って、普通の人間とかも…。

【水源師】

それも宇宙の全ての生命体でなく、ある一部の生命体。宇宙にはもう沢山の生命体があるから、本当は干渉してはいけないわけですね。私達が南米のブラジルの奥に住んでいる、そういう同族の人とコンタクトしてはいけないわけです。コンタクトしたらすぐ私達の病気が移って全滅してしまうという学説で、私達は、一般の人は入ってはいけないけれど、学者達は遠くに離れて観察すると。遠くから。そういう事で。

【参加者】

その飼育について、劣悪な環境で育っていると言うことに関してはどうですか。飼育について畜産の現場で、劣悪な環境で育っている豚さん、牛さん、その事に関してはどうですか。

【水源師】

やっぱりそれはしてはいけない事であってね、それは正常ではないと思いますよ。実は私達は、肉とか全て食べなければ良いのだけれど。今現代、そうすれば私達の身体はやって行けないと思う。ある国ではやって行けるけれどね。

暑い南国のインドとかそういう所では、肉を食べなくても生活出来るけれど、北のラップ民族とか、シベリアに住んでいるトナカイで暮らしている人達は、肉を食べなければやって行けないし、北のイヌイトという氷の中で生きている人は、アラザシと取って食べなければ、消滅してしまうわけなのです。

アラザシさんが、結局魚を食べたり、その魚が海藻を食べてそこからビタミン B とか C とか D を取って生きると。だからまず血をすすります。血をすすってそこから一番最高の栄養を取ります。だからドラキュラですね、私達は(笑)。それで、狩人もまずハンティングしたら、真っ先に血を絞って、その血を飲みます。

というのはここが最も大切な栄養剤で、力があるから。動物もまず殺したら首から血をすすります。だからマサイ族と言うのは、牛を育てますけれども、食べるものが殆どないから、牛さんの首にちょっと傷をつけて、血を取ってそれにミルクを垂らしてそれを飲んでいきます。

だから食べるものがなければね、そういう風な状態で、それをドラキュラで恐ろしい事をするからやめろという事なのか。という事はその人達は氷の中で生きているからね、イヌイトとか。

その方々が南に下りて来たらね、トロントに来たら皆病気になるわけです。その人達は取った物が氷で凍った刺身を食べなければ、栄養が吸収出来ないわけです。それで、北のインディアン達は、米とか麦とかそういう事を消化出来ない胃腸になっている

から。その身体は野生の果物とかそういう物しか食べられなくて、後は肉。そういう身体なのです。

だからインドに住んでいる人達は、肉を食べる人間は非常に野蛮でもう最低なのですよ。本当の野蛮人でもう人間ではないと。近づくなという風な感じですね。それで西洋の人は、肉を食べないで採食だけすれば、聖者になれると思っているわけです。本当にそうですよ。「私は肉を食べない」と。だからもう聖者であるとそう思っているわけです。そうではないと思う。その状況によって変わるから、お釈迦様は「これを食べろ、あれを食べろ」とは一切言わなかった。だから南伝の比丘は、捧げられた物は肉でも魚でも食べます。

北伝の人は何故食べないかと言ったら、今から千六百年前にね、王様が反乱軍によって、宮殿まで追い詰められた時に、少林寺のお坊さんが、王様を救ったわけです。それで少林寺テンプルのお坊さんだけは、ロバの肉を食べて宜しいと。後の他の全ての坊主は、何も働かないから肉は一切ダメと。そこから菜食主義が来たと聞きます。

一方的でなく、全体的に見なければ生かすものも全部死んでしまう

だからさっき言った劣悪な状態で、鶏とか豚さんとか牛さんを育ててそうするのは、非常に残虐でそれは政府が介入するべき問題だと思いませんか。動物愛護とかそういう。やっぱり育て方も影響があって、それは私達はいやで政府が黙っていると。これが大問題で、誰が聞いてもおかしいと。だからそういう事で福島原発で苦しんでも、皆黙っていると。

だから私達はおかしいのですよ。大きい政治的な目から見たら非常におかしいのです。それである時にアザラシの子供あるでしょう。ものすごく可愛いのです。それを殺しては何と残虐だと世界的に怒って、アザラシの品物は一切着ないし、残虐だという事で止めさせたわけですね。それでアザラシが、物凄く増えて魚を全部食べるものだから、漁師が魚を取れないで困ってしまったわけです。魚が殆ど消滅しそうになって、それでまたアザラシの赤ちゃんを取っても良いという事になって、それでバランス取れて漁師さんも元の生活が出来ました。

だから一方的な目と言うよりも、全体的に見なければ、生かすものが全部死んでしまうと。アフリカではマラリアで皆困っているから、マラリアの予防注射という事が出来て、もう大変な科学の成果で。それをしたら子供がドンドン増えてね、食糧が無くなって、村が全滅したと。

だから世界政治でちゃんとう準備しなければいけないわけです。マラリアを退治したらどれくらい人口が増えるか、人口が増えたらどれくらいの食糧生産がいるかと。ただ一つだけやって、「はい、もう私達は絶滅したと」、「はい、バイバイって言って。では今度そこで沢山人口が増えたら、その人達が殺し合いをしますよ。そこまで考えてやらなければいけないのに、一方的な1つの所だけやるからこんな事になるわけです。

その成れの果てが、今のリビアでしょう。カダフィが大変な独裁で人を殺してと、あれを殺したらもう皆幸せになると。ところがもう地獄の様相して誰も助けない。それでその

手に乗って国民が殺し合いして、バカを見たのは、リビアの国民。つけは誰が払うかと。誰も払わない。本人達が殺し合いやって、騙された人が悪いと。

だから日本の政治家は、余程気をつけなければいけないというのはそこ。誰もね、助けません。騙された君達が悪いのですよと。これがローマの法則。ローマ帝国の法則。騙された人が悪いのであって、騙す方は悪くないと。だからガードきっちりして騙されない様にと。これがローマ帝国の基本条件。

何か似ているでしょう？未だにやっています。だからバティカン、ロンドン、ペンタゴン。ロンドンと言うのはバビ・ロンのドン、ドンと言うのはカポ＝大将、ロンドン。それでロンドンと言います。まあシーンとしたけれど。

という風にやっぱりね、精神界の人は、最低国際常識は持つべきだと思う。こういう事は皆ローマカソリックのお坊さんは、皆知っているはずだし、言わないだけで。日本はね、西洋文化の一員なのですよ。スリランカとかカンボジアは別として、全く別な手法だから、それは私は言えないけれど。特に日本は文明開化で西洋文明を入れているでしょう。多分この事を話したのは日本では初めてだと思いますよ、初めて。

悪いけれどまた東京大学の話しをするけれども、一体何を勉強しているのかなとなる。何を勉強、真面目ですよ。でもそれを勉強させない仕組みがあるという事で、

この方たちは天才、本当に天才、頭が良い。ただその人達の頭を奪う事をして、やらされている方は分らないだけであって。私は何もこの人達を蔑むわけではないし、この人達が私の立場だったら、もう日本国が全て金の塊になりますよ。

ただ情報がね、吸収出来ないシステムになっていると言う事で、それでそのツケが皆さんに来ているわけです。商売が苦しくなったりとか、上から押さえつけられて。その姿勢は、一つも無いわけ。一つも無い。無限のフリーエナジーが、今でも使えるけれども、もう一瞬にして手品の様に出せるけれども、それをしない。だから殆ど働かなくても良いわけで。ロボットがドンドン働いて、食糧作って皆さんノウノウと暮らせるけれども、それをさせない。



ボルボドーを背景にして、インドネシア。

水源禅師法話集 76

(2017年5月3日 大阪合宿5日目)

2018年1月18日 発行

編集兼発行 一乗禅の会